



認定 NPO 活動法人 grand-mere

グランメールだより

第 17 号

令和 7 年 9 月 1 日発行

連日酷暑が続いており、秋の訪れが待ち遠しい今日この頃。そんな暑さの中でも、子供たちはたくさんの夏の思い出と共に一回りも二回りも大きくなり、たくましくなったように感じます。さて今回は市民の方と一緒に楽しんだ『インクルーシブ体験教室』など、夏休み期間に行なった各種イベントについてご紹介いたします。

【木工教室】7月28日（月）開催 参加人数：24名

今年の木工教室も厚木市で工務店を営む大工さん「中山先生」をお招きし、

【キースタンド】作りを行いました。今回のイベントも年少さんから高校3年生まで幅広くご参加いただき楽しく行うことが出来ました。

今回は、「さしがね」という道具で木材同士が直角になるように確認しながら線を引くなど、普段あまり使用しない道具に触れる機会となりました。実際に木材に合わせるのは少し難しかったですが、使うと作品自体の仕上がりが「ぐん」とあがりまして！

また子供たちの金槌で釘を打つ真剣な表情が印象的でした。まっすぐに打ち込めず曲がってしまうことや板を突き破ることもありましたが、最後まで諦めずに釘を打ちました。

仕上げに好きなスタンプを沢山押してかわいく仕上げる子もいれば、何も押さずに木の模様を生かしたキースタンドを作っている子もいてそれぞれの良さがありました。年少さんのお友だちは絵カードで次の手順を確認しながら一生懸命釘を打ち、スタッフとともに仕上げていきました。感想では、「たくさんやって疲れたけど楽しかった」「スタンプをいろいろ押したのが楽しかった」という声が聞かれました。また今後は「からくり木箱」「ペン入れ」「木のキーホルダー」を作りたい等、次回以降のご意見もたくさんいただきました。来年は釘打ちなど少し成長した姿を楽しみにしています。皆さんもぜひ木工の魅力に触れてみてはいかがでしょうか？



【イラスト教室】7月29日（火）開催 参加人数：32名

今年度は厚木市でイラストレーターや漫画家としてお仕事をされている

菊池栞さんを講師としてお招きしチョークアート教室を開催しました。

心待ちにしてきた子供たちは、先生が描いたチョークアートの様々な作品をみながらワクワクしている様子が見られました。

書いてみたいけど何から始めたらいいのかな？ どうやって書いたらいいのかな？と初めての試みに困惑する子どもたちに、シャボン玉の書き方や色のぼかし方、オーロラの書き方を先生が実演して見せてくれると、手品のよう書き上がる様子を見ながら「うわぁー」と思わず心の声が漏れる場面もありました。一人一人に色鮮やかなチョークと A4 サイズの黒板が配られると、すぐにチョークを手に取り実際に描きながら指の腹部分やティッシュを使って色の濃淡を出してみたり、ぼかしてみたりと色のグラデーションを楽しむ様子が見られました。時には消しゴムで書き直しを繰り返しながら根気強く思い通りの作品に近づけていく真剣な姿も見られました。アイスクリームや花火、お花や人魚姫、自分のペットを描く子供たちもいて思い思いの作品が出来上がってくると室内は一気に明るい雰囲気になり、自分の作品を嬉しそうに持ち帰る姿は印象的でした。例年行ってきた絵の具で描く絵画教室と両方経験している子供達からは、絵の具は色を混ぜて自分のお気に入りの色を作れる楽しさがあり、チョークアートは、書き直しが出来たり、グラデーションや色使いを楽しめるところが良いと貴重な意見を頂くことも出来ました。またひと味違った作品に出会えるように、今後も子供たちの声に寄り添いながらイベントを企画していきたいと思っております。



【陶芸教室】7月30日（水）開催 参加人数：51名

今年も尾山幸先生にお越しいただき、陶芸教室を開催しました。今回は「きょうだい」での参加が多く、「競って」「和気あいあいと」「個々に淡々」とそれぞれの取り組みがありました。予め作る物を決めていて、迷いなく作業に取り掛かるお子さんもいれば、先生のコップとお皿作りの実演を見てからアイデアを思いつき、アドバイスを受けながら形にしていくお子さんの姿もありました。未就学のお子さんは、粘土の「ぐにゃぐにゃ」とした感触や冷たさを味わうように捏ねる、伸ばすを繰り返したり、様々な道具を使うことを楽しみながら作っていく様子が見られました。小学生以上のお子さんは、手や指、道具を駆使して「こうした方がいいかな」「こっちかな」などと試行錯誤しながら思い描いたイメージに近づけようと真剣なまなざしで取り組んでいました。皆さんからは、「時間が足りなかった！」という感想も聞かれるほど時間をいっぱい使い、お花やハートのコップ、昆虫や動物型のお皿、キャラクターの置物など唯一無二のオリジナリティー溢れる作品が出来上がりました！



作品が完成すると、ヘラや切り弓など使った道具を水や雑巾で拭いて片付ける姿もあり、成長を感じられました。今年の釉薬は瑠璃色です。一生懸命気持ちを込めて作った作品達が、色付けされてまた一段と素敵になるのが待ちきれないです！（作品のお届けは10月ごろを予定しています。）

【デイキャンプ】8月1日（金）開催 参加人数：37名

今年度も清川村にある清川リバーランドへ出かけ、様々な体験をする日帰りキャンプを行いました。今年は15名の中高生とスタッフ、総勢37名で参加しました。キャンプ場に到着後、はじめにバーベキューの準備をしました。手分けして野菜やウィンナー、麺などの具材を準備し、焼きそばを作りました。「これくらいの大きさでいいかな？」「もっと小さく切ったほうがいいよ」と声をかけ合ながら具材を準備し、協力して仕上げていきました。協力して作った焼きそばは格別で、「おいしい」と笑顔いっぱいでした。昼食後はマスの掴み取り。ゆっくり追い込んだり必死に追いかけたりと、思い思いの方法で魚を狙う姿が印象的でした。逃げ回る魚に悪戦苦闘しながらも、捕まえられたときには「やったー」「すごいね」といった大きな歓声と笑顔があふれていました。マスの掴み取りの後は近くを流れる谷太郎川を散策。浮き輪やボートでゆらゆらと流れたり、水をかけあったり大自然の中で思いっきり楽しみました。スタッフも一緒に全身ずぶ濡れになりながら楽しみました。「冷たい！」「一緒にボートに乗らない？」と子どもたち同士で声をかけ合いながら楽しむ姿が見られ、普段関わりの少ないメンバー同士でも自然と打ち解けていました。また、「あの先生、全然濡れてないよ」「かけよう！」とスタッフを巻き込んで水をかけ合い、川辺は大きな笑い声に包まれていました。最後はスイカ割り。自分の順番の時だけでなく、お友達の時にも注目して声をかけ合います。「もっと左！」「そこそこ！」と仲間の声を頼りに一歩ずつ前進し、思い切り振り下ろすと「パーン！」と音が響き、周りから大歓声が上がりました。当日は雨も心配されましたが、みんなの願いが届いたかのように、天候が大きく崩れることなく予定通り開催することができました。様々な体験を通し、自分たちで考え行動する姿が見られ、子どもたちの成長を感じられました。「楽しかった」「また参加したい」との声が多く聞かれ、有意義な一日となりました。



今回の夏休み特別イベントには延べ108名とたくさんの方々にご参加いただき、ありがとうございました。来年も楽しいイベントを開催したいと思います。次回のイベントは、12月13日（土）に「ユニバーサルファミリーコンサート」、来年3月31日（火）には「ドラムサークル」を開催予定です。こちらのイベントへのご参加もお待ちしております。

grand-mere	児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援	海老名市浜田町 22-9	TEL046-240-6232
grand-mere patrie	児童発達支援・放課後等デイサービス	海老名市杜家 6-22-46	TEL046-244-6956
grand-mere adorer	児童発達支援・放課後等デイサービス	海老名市中新田 1-13-19	TEL046-206-6605
grand-mere polaris	障がい児計画相談・海老名市障がい児相談支援事業委託	海老名市中新田 1-13-19	TEL046-206-6190
plaisir	不登校支援・学習支援・相談支援	海老名市国分北 1-21-23	TEL046-206-7273